

令和5年度 学校評価アンケートのまとめ

児童生徒

ア：そう思う
イ：どちらかといえばそう思う
ウ：どちらかといえばそう思わない
エ：そう思わない

番号	アンケート内容	肯定的 (ア・イ)	低評価 (ウ・エ)
1	学校は、学校に対するみなさんの意見や希望を聞く機会をつくってくれていますか。	89.7%	10.3%
2	学校は、分かりやすい授業をしていますか。	93.1%	6.9%
3	学校は、学習した内容が確実に身につくよう、分からないことは納得するまで教えてくれますか。	96.6%	3.4%
4	あなたが日常生活で困ったとき、先生方は、親身になって相談に乗ってくれますか。	96.4%	3.6%
5	学校生活は充実していますか。	96.6%	3.4%
6	主体的に参加できる行事がありますか。	96.4%	3.6%
7	あなたの学部や学年は、協力して学校生活を送っていますか。	96.6%	3.4%
8	先生方は、進路に必要な情報を教えてくれますか。	96.6%	3.4%
9	学校には、学習に必要な設備が整っていますか。	85.7%	14.3%
10	学校の様子を家の人や友人に話しますか。	89.7%	10.3%
11	校外へ発信できる、学校を自慢できることがありますか。	89.7%	10.3%
13	学校は、いじめが起こらないように取り組んでいると思いますか。	82.8%	17.2%

(寄宿舎生のみ)

14	寄宿舎生活は充実していますか。	50%	50%
15	寄宿舎には、生活に必要な設備が整っていますか。	100%	0%
16	寄宿舎には、生活に必要な設備が整っていますか。	100%	0%
17	あなたが困ったとき、寄宿舎の先生方は、親身になって相談に乗ってくれますか。	100%	0%

保護者

A：そう思う。
B：どちらかといえばそう思う。
C：どちらかといえばそう思わない。
D：思わない。
E：分からない。

番号	アンケート内容	高評価 (A.B)	低評価 (C.D)	未評価 (E)
1	学校の教育目標や学部の教育課程、時間割や年間計画について、学部や学級の懇談会等で説明を受けていますか。	87.1%	12.9%	0.0%
2	授業は、お子さんにとって適切な学習の進め方や、I C T活用などの工夫した取り組み方になっていますか。	74.2%	12.9%	12.9%
3	お子さんの授業や行事の様子を知ることができますか。	83.9%	12.9%	3.2%
4	教師はお子さんが困っているとき、相談にのったり、支援の手を差し伸べたりしてくれますか。	87.1%	6.5%	6.5%
5	お子さんのことで何か悩んだり困ったりしたときに、担任等やカウンセラーに相談できますか。	84.4%	12.5%	3.1%
6	進路選択に向けて関係機関と連携して職場体験や施設見学などを適切に企画し、指導されていると思いますか。(幼稚部を除く)	86.2%	10.3%	3.4%
7	卒業後の社会生活を見据えた進路学習で、児童生徒一人一人の能力や特性を伸ばす取組がされていますか。(幼稚部を除く)	64.3%	10.7%	25.0%
8	学校は、安全・安心な教育環境を整えて、日頃から防災教育などの身を守る取組をしていると思いますか。	93.8%	0.0%	6.3%
9	体調が急に悪くなったり、ケガをしたりして、急を要するときに、学校は適切に対処していると思いますか。	93.8%	6.3%	0.0%
10	学校では、施設・設備の充実に取り組んでいると思いますか。	78.1%	12.5%	9.4%
11	学校は、個人情報の管理をしっかりと行っていると思いますか。	81.3%	6.3%	12.5%
12	学校は、いじめの未然防止及び早期発見、早期対応に努め、安心して生活できる教育環境づくりに取り組んでいると思いますか。	59.4%	6.3%	34.4%

(寄宿舎生保護者のみ)

13	寄宿舎生活及び行事は、お子さんにとって充実したものになっていると思いますか。	90.0%	0.0%	10.0%
14	寄宿舎の施設・設備は整備されていますか。	90.0%	10.0%	0.0%
15	指導員はお子さんが困っているとき、相談にのったり、支援の手を差し伸べたりしてくれますか。	90.0%	0.0%	10.0%

職員

4：特に優れている
3：どちらかといえば優れている
2：どちらかといえば劣っている
1：劣っている

	NO	評 価 項 目	高評価 (4・3)	低評価 (2・1)
I 教育目標	1	視覚障害者教育の今日的な課題と幼児児童生徒の実態が考慮された教育目標・教育方針である。	100.0%	0.0%
	2	校務分掌の各係の内容・活動がよく理解され、引き継ぎも正確かつ迅速に行っている。	85.5%	14.5%
	3	幼・小・中・高が連携して幼児児童生徒の実態を的確に把握し、個々を大切にしながら継続的な指導が行われている。	87.0%	13.0%
	4	学校教育目標（重点目標とアクションプラン）と学部・分掌等の目標は整合性がとれている。	98.5%	1.5%
II 教育課程・ 指導計画	5	幼児児童生徒の障害の状態、家庭状況を把握して実態にあった教育課程が編成されている。	97.1%	2.9%
	6	学習指導要領に基づき、教育目標、教育の重点をふまえて、指導計画を作成している。	97.1%	2.9%
	7	ICT機器を活用したりして資料を収集・整理し、教材教具の工夫をし、有効的な活用を図っている。	84.1%	15.9%
	8	指導形態を工夫して、個に応じた指導がなされている。	97.1%	2.9%
	9	幼児児童生徒の興味関心を促し、自主的・自発的な活動を重視している。	98.5%	1.5%
	10	それぞれの学習活動について観点別・視点ごとに定期的に評価を行い、評価結果を指導内容や方法の改善に役立てている。	97.1%	2.9%
	11	学校行事は、幼児児童生徒にとって、活躍の場が十分確保された有意義なものになっている。	97.1%	2.9%
	12	児童生徒会活動・部活動では、児童生徒が主体性をもって取り組むように指導している。	92.8%	7.2%
	13	道徳教育では、児童生徒が命の大切さ、社会のルールやマナー、他人への思いやりを理解し実践できるよう指導している。	98.6%	1.4%
	14	社会奉仕体験活動や自然体験活動などの体験活動を通して、児童生徒の内面に根ざした道徳性を育成している。	94.2%	5.8%
	15	学校の方針や教育課程、時間割や年間計画について保護者等へ情報を提供し、理解・協力を得るための取り組みをしている。	95.6%	4.4%
	16	保護者からの意見や提案等を収集する場や機会を設けている。	97.1%	2.9%
III 生徒・ 進路指導	17	幼児児童生徒が自分の個性を伸ばし、学習や生活において充実感の感じられるよう指導している。	100.0%	0.0%
	18	個人面談等によって、積極的に児童生徒・保護者の相談に応じている。	100.0%	0.0%
	19	いじめの未然防止及び早期発見、早期対応に努め、安心して生活できる教育環境づくりに取り組んでいる。	100.0%	0.0%
	20	進路決定に向けて情報提供や進路相談などを通してきめ細かく指導している。	94.1%	5.9%

	21	児童生徒が望ましい勤労観・職業観を持つことができるよう職場体験や見学など、個に応じた施設系統的な進路指導を行っている。	95.7%	4.3%
	22	寄宿舎と学部等との連携は密にとれている。	91.3%	8.7%
IV 健康・安全指導	23	学校・家庭・医療機関との連携を密にして、児童生徒の健康状態を的確に把握している。	100.0%	0.0%
	24	幼児児童生徒の個人差・年齢差に応じた保健管理と保健教育の充実を図っている。	100.0%	0.0%
	25	幼児児童生徒自らが心身の健康や障害に関心を持ち、改善・予防していく態度を身につけさせている。	98.6%	1.4%
	26	幼児児童生徒の体調不良等の緊急時対応マニュアルが整備され、全職員が迅速に行動する体制ができている。	98.6%	1.4%
	27	児童生徒の通学路、通学方法等を把握し、状況の変化に迅速に対応できるようにしている。	98.6%	1.4%
	28	幼児児童生徒の安全・安心な教育環境を整えて、日頃から防災教育などの身を守る取組をしている。	100.0%	0.0%
V センターの役割	29	本人・保護者や地域のニーズに応じて、適切な相談活動ができている。	100.0%	0.0%
	30	教育相談活動についての適切な広報活動を行っている。	97.1%	2.9%
	31	障害者に対する理解、啓発を促進する目標を設定し、協力協働の体制づくりをしている。	100.0%	0.0%
	32	学校公開や視覚障害者用の教材教具の貸し出しを行い、地域社会や学校等への理解啓発を促している。	98.6%	1.4%
	33	他の学校の視覚障害幼児児童生徒及び教員への支援活動が十分に果たされている。	100.0%	0.0%
	34	中途視覚障害者に対する理解、啓発及び適切な支援がなされている。	100.0%	0.0%
	35	障害者の福祉に関する制度を理解し、関係者に知らせたり、相談に応じている。	100.0%	0.0%
VI 施設・設備	36	必要な情報機器が整備され、教師や児童生徒が有効に活用している。	85.5%	14.5%
	37	学校図書館は利用しやすいように整理され、幼児児童生徒への広報活動およびその空間の有効利用ができている。	91.3%	8.7%
	38	学校の施設設備や備品は教育活動の推進に支障がないよう整備されている。	85.5%	14.5%
	39	施設設備の整備、備品の購入等は、学校全体を視野に入れ、必要度や将来を見通して行われている。	88.4%	11.6%
VII 現職教育	40	職員の専門性を高めるための研修が計画的に行われている。	92.8%	7.2%
	41	研究大会や研修講座への参加など、自主的な研修をする時間が確保されている。	92.8%	7.2%
	42	教科領域の指導に関する教材研究や授業研究など意見交換をし合い、積極的に実践的指導力の向上を図っている。	92.8%	7.2%